



学校法人支倉学園

事業報告書

令和 6 年度



目次

I 学校法人支倉学園

i 沿革	2 - 3
ii 設置する学校等の所在地	3
iii 役員の概要	3
iv 評議員の概要	3
v 理事会・評議員会の開催状況	4

II ファッション文化専門学校 DOREME

i 学校の教育目標	4
ii 設置する学科と学生数	5
iii 教育の充実	6 - 8
iv 学生募集	8 - 9
v 学生支援	9
vi 就職支援	10
vii 教職員の概要	11
viii 施設・設備	11 - 12
ix 地域貢献・社会貢献	12

III めるへんの森幼稚園

i 園の教育目標	12
ii 募集人数	13
iii 在園児数	13
iv 教育の充実	(別添資料参照)

III 財務の概要

(別添資料参照)

I 学校法人支倉学園

和装から洋装へと歴史的な転換を果たした先駆者のひとり故杉野芳子先生の教育精神を慕い、昭和15年に初代校長菅野貞子が「宮城ドレスメーカー女学院」(現ファッション文化専門学校 DOREME) の看板を掲げた。当時は和服姿の生徒に正しい洋服の縫製や着こなしを指導するために、洋服の下着作りから始めなくてはならなかった。その後太平洋戦争では材料不足や軍からの圧迫を乗り越え、戦災を受けた焼け跡から初代理事長菅野忠雄と共にミシンを掘り起こして授業を再開した。昭和55年には学校法人の名称も、江戸時代初期に海外に雄飛した支倉常長の壯図にちなみ「学校法人支倉学園」とし、未来にはばたく人材を育てるような教育を実践してきた。翌年には泉区加茂に「めるへんの森幼稚園」も開園し、奉仕の心で世の為に喜びを還元しようとする精神の元、支倉学園の発展の礎石をゆるぎなく確立させてきた。さらにファッショナ業界のニーズを読み取り、平成22年には昭和56年より続いていた「専門学校創表現研究所 est」を統合。洋裁だけにとどまらず、ファッショナビジネスやメイクアップ、ジュエリー制作等を通して現在も更なるファッショナ人の育成に尽力している。

本学園は、自分の目と頭と体と感性を使い、作業、行動を通して、創造し自分で考えることのできる若者を育てることを目標とし、技術だけではない人格教育に力を注いできた。また、昨今の社会情勢を鑑み、教育の底流にある人間教育、思いやりや相手を尊重する気持ちを育てる教育について学園をあげて取り組んでおり、努力・礼節・明朗をモットーに徳育を重視した専門教育と幼児教育を行っている。

i 沿革

年月	概要
昭和15年	仙台市一番町に宮城ドレスメーカー女学院創立
昭和18年	戦時下のため宮城洋裁女学院と改称、芭蕉の辻に校舎移転
昭和20年	仙台空襲で校舎全焼失
昭和21年	仙台市連坊小路に再設立
昭和24年	仙台市常盤丁に校舎設立
昭和26年	私立学校法による「学校法人」に組織変更昇格
昭和44年	仙台市支倉町に宮城ドレメビル完成
昭和51年	専修学校制により宮城ドレスメーカー専門学校と改称
昭和55年	創立40周年を迎えて「学校法人支倉学園」と改称
昭和56年	泉区加茂に「めるへんの森幼稚園」創設 学校教育法第1条校に昇格
昭和57年	仙台市支倉町に「専門学校ファッショナビジネスカレッジ」設立
昭和60年	「ファッショナビジネスカレッジ」を「創表現専門学校 est」に改称 向陽台高等学校技能連携指定校となる

平成 16 年	校名を「ドレメファッショニ芸術専門学校」に改称
平成 22 年	「専門学校創表現研究所 est」を統合
平成 26 年	校名を「ファッショニ芸術専門学校 DOREME」に改称
平成 29 年	校名を「ファッショニ文化専門学校 DOREME」に改称
令和 2 年	ドレメ創立 80 周年、めるへん創立 40-周年を迎える
令和 6 年	纖研新聞社主催ファッショニスクールアワード敢闘賞受賞

ii 設置する学校等の所在地

【法人本部】【ファッショニ文化専門学校 DOREME】

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町 1 番 33 号

【めるへんの森幼稚園】

〒981-3122 仙台市泉区加茂 2 丁目 24 番 2 号

iii 役員の概要（令和 7 年 6 月 1 日現在）

【理事】 定員 6 名 現員 6 名

理事長 菅野 敦子（ファッショニ文化専門学校 DOREME 校長）

理 事 伊勢 千春（めるへんの森幼稚園 園長）

理 事 小幡 賢二（会社役員）（～令和 6 年 5 月 31 日）

理 事 及川 壮也（会社役員）（令和 6 年 6 月 1 日～）

理 事 菅野 麻那（学校法人支倉学園 法人本部長）

理 事 檀崎 孝志（会社役員）

理 事 丹野 敏夫（司法書士・行政書士）

※選任根拠条文・50 音順

【監事】 定員 2 名 現員 2 名

監 事 丹 義秀（遠山青葉印刷株式会社 代表取締役副社長）

監 事 菊地 英子（会社役員）

※選任根拠条文・50 音順

iv 評議員の概要

【評議員】 定員 16 名 現員 16 名

菅野 敦子 伊勢 千春 小川 恵美 菅野 一磨 菅野 麻那 西條 綾子

荒井 哲子 中村 武好 及川 壮也 檀崎 孝志 豊島 文彦 尾崎 行彦

小幡 賢二 武井 教使 丹野 敏夫 針生 庸一

※選任根拠条文・50 音順

v 理事会・評議員会の開催状況

(1) 令和6年度理事会の開催状況は以下の通りである

	開催年月日・開催時間	出席	委任状	欠席	監事の出欠
第1回	令和6年5月31日 16:00~17:30	4人	0人	1人	2/2
第2回	令和6年10月25日 16:00~17:00	5人	0人	0人	2/2
第3回	令和6年3月28日 16:00~17:00	4人	0人	1人	2/2

(2) 令和5年度評議員会の開催状況は以下の通りである

	開催年月日・開催時間	出席	委任状	欠席
第1回	令和6年5月31日 14:00~15:00	15人	0人	1人
第2回	令和6年10月25日 14:00~15:00	15人	0人	1人
第3回	令和6年3月28日 15:00~16:00	15人	0人	1人

II ファッション文化専門学校 DOREME

i 学校の教育目標

創立80周年を迎える、社会と共生する教育機関として、創立者菅野忠雄、貞子の理念を継承し、未来に向けての若者たちの育成、新たなファッション人の育成に更に尽力する。オリジナル性の高い専門教育サービスを提供し、未来を創造する感性・発想力を備えた創造的表現者を育成する。

Dream (夢力)：学生一人ひとりの夢に向かって夢と目標に近づきます。→将来に向かって夢を実現するための努力を惜しまず、日々向上できる精神力と実行力を持つ人

Revolution (革新力)：自己変革、新たなる破壊と再構築。自主自立。立ち向かう強さを養い表現の自由を追求します。→自己変革、革新を忘れず、発送の豊かさや表現力に磨きをかけ、常にチャレンジする人

Message (発信力)：若い感性と創造性を「心」と「かたち」で伝え、すべての人たちに幸せになってほしい気持ちを込めて努力します。→世界や文化に目を向け、ファッションにできる事を発信し、明朗活発に率先して行動する人

本校のアドミッションポリシーを再確認し、学生だけでなく職員もが日々成長していく環境作りを徹底する。そして学生達の夢と希望を叶えられるよう、企業と連携し、実践的な教育を実施し、時代が要請する高度な専門性を持った即戦力となる人材を育成す

る。

【本年度に定めた優先課題】

- ・入学生数の増加(1学年50名)を全職員の目標とする。
- ・オープンキャンパスの充実化と魅力ある学校作りのアウトプットに尽力する。各種SNSやメディアとの連携を深め、学校外への露出を増やして、学生獲得につなげる。
- ・服飾、ファッション教育の伝統校としての学科教育内容、企業と連携した各科目における実践的な教育の実施、企業実習、演習、企業の講師による講義など業界で即戦力となる学生を育成する。
 - ・ファッション業界に必要とされる基礎的な知識、技術、感性は、もちろんのこと、カリキュラム、企画、生産、販売へと流通業界にも通じるファッションビジネスにも力を入れ、専門的、創造的な職業人と人間教育の場として更に確立する。また、「今、ファッションにできること」をテーマに、地域の産業振興に寄与する。
 - ・退学者を減少させるべく、手厚い学生サポート体制を敷く。退学を決めてから知るのではなく、不満や不安要素の段階で解決できるよう、ヒアリングと職員間の連携を強化する。
 - ・学費納入については昨今の経済状況により厳しいものがあるが、特待生制度や入学時における授業料の減免制度を周知していく。また、高等教育の修学支援制度を活用し幅広い学生支援で、経済的に困窮している学生の救済を行う。
 - ・職員の職場環境も改善し、必要な部門に手が届くような仕事分配をする。ムリ・ムダ・ムラの3Mを取り除き、古い風習や体制を変革していく。
 - ・就職率100%を定着させる。
 - ・次世代職員の採用、育成強化。

ii 設置する学科と学生数

<R5年度学生数>

学科	修業年限	昼夜別	入学定員	入学者数	総定員	在籍者数		
						計	男	女
デザイン造形学科	2	昼	20	24	40	39	5	34
スタイリスト学科	2	昼	5	6	10	9	1	8
ファッションビジネス学科	2	昼	15	19	30	32	13	19
アーツ&クラフト学科	2	昼	5	2	10	3	1	2
クリエーター学科	1	昼	5	4	5	4	0	4
服飾デザイン学科	2	夜				募集停止中		
合計			53	55	101	87	20	67

※令和5年5月1日現在の数値であり、学校基本調査(文部科学省)の数値と一致する。

<R6 年度学生数>

学科	修業年限	昼夜別	入学定員	入学者数	総定員	在籍者数		
						計	男	女
デザイン造形学科	2	昼	20	21	40	39	6	37
スタイリスト学科	2	昼	5	3	10	9	0	7
ファッションビジネス学科	2	昼	15	13	30	32	11	17
アーツ&クラフト学科	2	昼	5	0	10	3	1	1
クリエーター学科	1	昼	5	8	5	4	3	5
服飾デザイン学科	2	夜				募集停止中		
合計			53	45	101	88	21	67

※令和 6 年 5 月 1 日現在の数値であり、学校基本調査(文部科学省)の数値と一致する。

iii 教育の充実

<ファッションの専門教育とキャリア教育を融合した教育課程>

入学

【AO 入学、特待生、ファッション特待生】

1 年次



2 年次



アドミッションポリシーの体現:Dream/Revolution/Message を実現させる社会人の育成。学生自らが主体的に考えて行動する。

キャリア教育：学生 1 人 1 人に合わせたキャリアプランをキャリア教育担当者の面談を基に作成。細やかな支援を実施。

卒業制作：学内統一テーマ【Reincarnation】を基に各自の作品を計画的に制作、プレゼンテーションスキルや企画書制作スキルも養う。

ファッションショー：せんだいメディアパークにて大規模ファッションショー。学生主体で制作・運営する過程から、主体性を身につける。

【アドミッションポリシー】

Dream (夢力)：将来に向かって夢を実現するための努力を惜しまず、

日々向上できる精神力と実行力を持つ人

Revolution (革新力) : 自己変革、革新を忘れず、発送の豊かさや表現力に磨きをかけ、常にチャレンジする人

Message (発信力) : 世界や文化に目を向け、ファッションにできる事を発信し、明朗活発に率先して行動する人

① 教育指針

本校のアドミッションポリシーに掲げる Message は発信力とし、本校で受けた専門教育を世に発信していくことのできる人材を育成したいという想いが込められている。本年度も引き続きこの Message を学校目標とし、向上心とコミュニケーション能力を育成する教育プログラムを実施する。「社会人基礎力の醸成」を目標とし、就職率 100% はもちろんのこと、入社後も継続してファッション業界にて活躍できる人財を育成するため、社会人として必要なスキルを定着させる。

②令和 5 年度における特色ある教育活動

■企業とコラボレーション・SDGsへの取り組み

→BOOKOFFとの協力のもと、「リユースフェス」に引き続き参加。廃棄される古着を再構築した服でファッションショーを行った。ぶらんど～む一番町のアーケードの野外ステージで開催された為、多くの市民の目に触れる機会になった。2年目ということもあり、メルカリや制服のリユース業者等の民間企業の参加も増加し、交流も深めることができた。更に東北芸術専修高等学校との連携も深めることができ、入学者獲得に向けての信頼関係を構築した。

→仙台フィルハーモニー管弦楽団及びハイパーウィンド仙台とのコラボレーションのもと、オーケストラとバレエの世界に衣装デザインとして参加。時代背景に則ったデザイン方法や、ファッション画の描き方、ダンスに適したパターンメーキングについて学びを深めることができた。更に青年文化センターにてデザイン画の展示も行い、本校の認知度向上に寄与した。

■縫製工場との連携強化

→岩手県二戸市にある二戸サントップにて 3 日間の滞在型インターンシップを開催、他東北 6 県の縫製工場との連携も強化し、定期的に就職者を輩出している。令和 6 年度には校内企業説明会を復活させ、更に東北での就職に強い学校として認知度も高めていく。

■地域への影響

→本校併設のショップ実習室にてオリジナルショップを開店。ファッションビジネス学科 2 年制やクリエーター学科の学生が期間限定で古着屋やアクセサリーショップを開店した。近隣住民や高校生が数多く訪れ、コロナウイルスが落ち着いていたこともあり、過去最高額を売り上げた。

■GRADUATION EXHIBITION 2024

→コロナ禍も明け、席数制限を撤廃し開催した。完全予約制としたが、3日前までに全公演満

席となり、土曜日の公演は立ち見席も必要となった。867名の来場者、3つのテレビ局での放送、河北新報及びWWDにも取り上げられ、広報効果も向上した。また、メインヴィジュアルに在校生を採用した結果大きな反響があった為、今後も継続していくこととする。

■学生も教える体験を(プレスクール)

→学校広報の一環として入学希望者を招いて、授業体験をしているが、学生にもアシスタントとして人に教えることの難しさ、喜びを体感させ、モチベーションを向上させる。

iv 学生募集

① オープンキャンパス

大型オープンキャンパスについては、6月の参加者が8名、7月が19名と例年より減少してしまった。しかし、入学率としては70%を達成しており、内容は満足度の高いものとなっている。毎月のプレスクールからの入学率も高く、こちらも継続して周知していく。同分野の競合校はより一層募集活動に力を入れることは必然であり、本校も募集活動のより一層の向上が必須である。出願対象者から厳しい目で競合校と比較検討されることを考え、本校の強みの伝え方に工夫が必要である。教務と広報担当者との連携が必要不可欠であり、より一層協力体制を敷ける様、教職員の意識改革に臨む。

③結果と課題

前述した教務と広報担当者の連携はもちろんのこと、体験入学参加者の母数を増やすことは継続した課題であり、メディアとの連携や地道なSNSの更新も重要である。効果的な広報方法を精査し、伸び率が期待できる方法に注力していく。また、高等学校との信頼関係構築は学生募集には欠かせない重要な部分である。高等学校に向けた模擬授業は効果的であり、今後一層力を入れるべき部分である。校舎の老朽化も課題の一つであり、オープンキャンパス時の天候が優れないと校内が暗く、イメージも悪い為、早急にLED化を進める。トイレ改修についても目途をつけ、フロアごとにでもリニューアルが必要である。

v 学生支援

① 退学者

学年	退学者数	理由
1年生	8名	精神的疾患、進路変更
2年生	3名	進路変更

※令和6年5月1日現在の数値であり、学校基本調査(文部科学省)の数値と一致する。

②結果と課題

前年度比ほぼ横ばいである。元々高校時から不登校であったり、オープンキャンパス

未参加で、学ぶ意識の不確かな学生が年々増加している。本年度は特に精神的疾患を抱えている学生が多く、入学後すぐに不登校というケースが多くみられた。

更に中程度の発達障害や精神障害を抱えている学生も増加しており、職員の負担も増加している。校内カウンセラーの採用も視野に入れ、サポートが必要である。

高校時に欠席が著しく多い学生や、オープンキャンパス未参加の学生には、入学前面談を実施しているが、更なる強化が必要である。入学後はクラス担当制を実施しているため、細やかな面談を行い、人間関係問題や本人の悩みの早期発見に努めている。

③ 学生会「ドレメゾン」の充実

入学生アンケートにより、ドレメの進学の決め手で最も多かったのが「行事の充実」であった。本学のSNSでの行事発信の効果が高いことが分かった為、コロナ禍でも開催できる行事を増やし、魅力的な発信方法を検討する。

v 就職支援

① 就職率

学科名	卒業者	就職者	未決定	進学	就職率
デザイン造形学科	14	9	0	5	100%
スタイリスト学科	2	2	0	0	100%
ファッショニングビジネス学科	11	8	0	3	100%
アーツ＆クラフト学科	1	1	0	0	100%
クリエーター学科	4	4	0	0	100%
計	32	32	0	8	100%

※就職希望者=就職者+未決定者

※就職率=就職者÷就職希望者

② 主な就職先

白石ポリテックス工業(株)、(株)福装21、(株)キャン、(株)パル、
(株)ハニーズホールディングス、(株)T S I、(株)ビックママ、(株)ベイクルーズ 他

③ 結果と課題

昨年度に引き続き就職率100%を達成。学生の傾向として、
関東や関西を避け、地元での就職を希望する者が非常に多く、地元企業との
連携・就職先開拓が必要である。また、男子学生も増加しており、男子学生の
就職先が少ないため、開拓を進めていく。

viii 教職員の概要

① 教職員数

	常勤		非常勤	
	男	女	男	女
校長		1		
教員	1	6		
講師		2	3	10
計	1	9	3	10
助手		1		
事務職員		3		
その他職員	1			
計	1	4		
総合計	2	13	3	10

※令和4年5月1日の教職員数を記載している

※教員の人数は、専修学校設置基準が定める要件を満たす者を算定している

②教職員研修

【ファンション業界研修】

令和5年 9月 宝塚鑑賞

【職場意識向上研修】

令和5年 8月 ペーパーレス化、DX化研修（リコージャパン）

令和5年 10月 メンタルヘルス講習

【キャリア指導向上研修】

令和6年 1月 租税講習

ix 施設・設備

① 大規模修繕・購入を行った施設・設備

特になし

エレベーター機械リニューアル工事を令和7年度に予定

x 地域貢献・社会貢献

SDGsへの取り組みが重要視されている中で、本校では以下のテーマを強化し

ている。

3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
17. パートナーシップで目標を達成しよう

上記のゴールへの取り組みを対外的にも発信していく。

III めるへんの森幼稚園

i 教育目標

無心にとことん、あそびこんでいける環境をつくります。

いのちの根っこを養う幼児期に、たっぷりと「あそぶ」行為の奥から、何でもやってみようという意欲を伸ばします。

わくわくドキドキする夢中さ、何かをやりとげた時の喜び。

めるへんの森での体感のひとつひとつから、いきいきと感受する心がひらき、生きぬこうとするチカラが健やかに培われます。

1、心も身体もたくましい子を育てる

思いっきり夢中になる体験が、心身にのびやかさをもたらします。

2、周りとのつながりから、思いやりの心を培う

友だちや先生、虫や草花、すべての生き物たちとのつながりの中から、

弱さや痛みを感じる思いやりのある優しい心を育てます。

3、自然の中で五感を伸ばす

太陽のあったかさや風のここちよさ、草や土のにおい。

周りの自然ゆたかな環境の中から、発見、驚き、感動する心を育てます。

4、感受性と想像力を養う

物語を聴く、読む、演じてみる、うたう、描く、思いを伝える。

心身で表現する歓びや創造力を育みます。

「与える教育」ではなく、自ら伸びようとする力を引き出すことにつとめます。

子どもたちみんなの中に宿る、生の可能性を伸展させていきたい、

それがめるへんの森幼稚園の希いです。

ii 募集人員

年齢区分	満3歳	3歳	4歳	5歳	計
------	-----	----	----	----	---

募集人員	若干名	80	10	若干名	90
------	-----	----	----	-----	----

iii 学級別在園児数

令和5年度

学級名	3歳児		4歳児		5歳児		合計
性別	男	女	男	女	男	女	
ひかり組	12	12					24
かぜ組	10	13					23
ゆめ組	11	13					24
いづみ組			20	18			38
もり組			20	17			37
ほし組					16	15	31
おか組					16	15	31
にじ組					17	14	31
合計	33	38	40	35	49	44	239

※令和5年5月1日現在の数値であり、学校基本調査(文部科学省)の数値と一致する。

令和6年度

学級名	3歳児		4歳児		5歳児		合計
性別	男	女	男	女	男	女	
ひかり組	8	8					23
かぜ組	7	9					23
ゆめ組	6	9					23
いづみ組			13	11			24
もり組			13	11			24
ほし組			13	12			25
おか組					21	18	39
にじ組					21	18	39
合計	21	26	39	34	42	36	220

※令和6年5月1日現在の数値であり、学校基本調査(文部科学省)の数値と一致する。

iii 教育の充実

別添資料のとおり

iv 教職員の概要

	常勤		非常勤	
	男	女	男	女
園長		1		
主幹教諭		1		
教諭		11		
講師				9
計		13		9
事務職員				1
運転手			4	
その他職員	2	1		5
計	2	1		5
総合計	2	14	4	15

viii 施設・設備

① 大規模修繕・購入を行った施設・設備

- ・水道工事（園児棟 2 階）
- ・グランドピアノ買い替え
- ・HP リニューアル
- ・PR 動画撮影
- ・ホール絨毯、カーテン修繕



めるへん新 HP

② 令和 6 年度の修繕予定箇所

- ・園児棟 LED 化
- ・防犯カメラ

③ 今後の予定

IV 財務の概要

別添資料のとおり